

## 遠隔在宅介護・在宅医療システム 福祉ジャパン(株) iPadなど端末活用提案 「ケアパネルシステム」普及に注力

医療福祉に関する情報サービス、支援などの福祉ジャパン(株)(福山市曙町4-1-3)は、資本金1千万円、山田哲矢社長、TEL084-959-5010は遠隔在宅介護・在宅医療をサポートするICTネットワーク「ケアパネルシステム」の販売を強化する。

愛知県のシステムメーカーが開発して今年6月に同社と業務提携、販売を行っている。

同システムはiPad、iPhone、ipod touchの端末を利用したサービスで、病院や介護・福祉施設、居宅などに設置することで遠隔での診察等が迅速に行えるほか、過疎地、山間・諸島部の医療介護系の人材不足を補うニーズも期待される。

同社では今後さらに利便性を向上させ電子カルテや患者情報管理のシステム化など改良を行う予定。関東地域では需要が高まってきており、備後地域のほか東京での販売促進・販路拡大に攻勢



をかける。山田社長は「医療介護サービスの提供側、利用者側双方のコミュニケーションツールとして、きめ細かいタイムリーな対応が実現できる画期的なシステムです」と話す。設置導入費用はシステム本体価格、プログラム導入費用、iPad端末1台で20万円から30万円。今期の販売台数は50台を目標に見込む。

また福祉に役立つ情報を集めた地域密着型のポータルサイト「ケアパネル」も運営している。登録店舗を「目的や業種別にカテゴリ分類し、ほしい情報を介護の現場でいつでも簡単に得られる便利サイト。より充実したサービスを提供するため、高齢者・障がい者

に対応可能な新規登録店を募集中。問い合わせは福祉ジャパンまで。

### 尾道商工会議所が会員大会 小規模企業支援の決意新た パラリンピックの佐藤真海選手が講演

尾道商工会議所は14日、尾道市公会堂で同所創立122周年会員大会を開き、会員ら約1千人が参加した。

はじめに福井弘会頭が式辞で、にぎわったサイクリングしまなみ、グルメサミット・イン尾道、今年度には全線開通する中国横断道尾道松江線によって完成する瀬戸内の十字路への期待を述べた後「今年6月に成立した小規模企業振興基本法により事業の持続的発



展が基本原則に位置付けられ、通常国会において商工会議所が小規模企業支援の中核と位置づけられました。尾道商工会議所では小規模企業支援法に基づき、事業者の直面する課題に寄り添い皆様とともに歩む所存です」と小規模企業の発展に決意を表明した。

その後、優良従業員を表彰して式典を閉会。会議所メセナとして取り組む三味線・尺八の披露に続いて、記念講演があり、東京オリンピック・パラリンピック誘致の国際舞台でスピーチを行ったパラリンピック陸上選手の佐藤真海さんが「夢を飛ぶ」の題で講演を行った。

### かき小屋仙酔島 14日オープン

国民宿舎仙酔島特設コーナーに

広島県の事業オイスターロードかき海道の一環として14日(金)から来年3月31日(火)まで期間限定で国民宿舎仙酔島特設コーナーに「かき小屋仙酔島」がオープン、営業が始まった。営業時間は午前11時から午後4時、期間中無休。

広島県産の旬の牡蠣を炭火で焼きながら楽しむ焼き牡蠣は7個程度で1千円、牡蠣味噌鍋は1人前1千円、牡蠣入りお好み焼きは1枚1千円、瀬戸内の旬の魚は500円から。炭代、テーブルチャージ料300円。問い合わせはTEL084-970-5505同店。